

● 保健医療分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
主要病院医療機材整備計画	厚生省医療サービス促進局	(株)国際テクノ・センター				96.2(本)	
ボゴタ市および主要中核都市の病院に対し、救急、手術、臨床検査、産婦人科、ICU、放射線部門などへの機材の調達を行う。							

コスタ・リカ

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力		(億円) 0.62	20.81
有償資金協力		(億円) 0	444.09
JICA 技術協力実績	技術協力経費	(億円) 10.56	102.30
	研修員受入	(人) 53(新規)+10(継続)	643
	専門家派遣	(人) 22(新規)+14(継続)	205
	調査団派遣	(人) 37(新規)+0(継続)	556
	協力隊派遣	(人) 26(新規)+25(継続)	258
	単独機材供与	(100万円) 30.62	551.3
	開発調査	(件) 1	13
	プロジェクト方式技術協力	(件) 2	3

コスタ・リカ◎中南米

わが国の対コスタ・リカODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力	0.51
技術協力	10.73
政府貸付等	-22.09

● エネルギー分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ロスジャーノス発電開発計画	1990年にコスタ・リカ電力公社が行ったマスタープラン調査で選定された4地点のうち、最も有望なプロジェクトとして本件が浮上した。ナランホ川中流部にダムを設けて取水し、導水トンネルで西に隣接するパキータ川の発電所に導き、99MWの発電を行うためのフィージビリティ調査を実施する。本件は流域変更を伴うため、周辺環境に与える影響が大きく、環境影響評価に力点を置くこととしている。95年度は、94年度に引き続き、本格調査を実施し、中間報告書、最終報告書案をコスタ・リカ側に提出し、説明・協議を行ったのち、コスタ・リカ側のコメントを受けて最終報告書を先方政府に提出した。	コスタ・リカ電力公社	電源開発(株) 国際航業(株)

● 人的資源分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
ビデオ教材作成用機材	一式	30,617	ナショナル大学ビデオ教材作成室	一般単独機材	専門家派遣

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパート受入(人)	機材供与(千円)
中米域内産業技術育成計画 (当初R/D協力期間) 92.9.1~97.8.31	89	コンタクト	94年度までの 累 計	32	17	27,441
	90	長期調査				
	90	事前調査	95年度	8	5	
	92	実施協議				
	92	計画打合せ	9	2		
	94	巡回指導				
94	計画打合せ	継続				

<要請背景>

累積債務、財政赤字に悩む中米各国は、それぞれの国家開発計画のなかで、経済を健全化し国家再建を図るために、生産部門の活性化に直結する人材の育成を最重要課題として取り組んでいる。

本プロジェクトは、上述の構想の一環として1989年7月に、企業経営管理技術、情報処理技術に関する技術移転を目的とし、プロジェクト方式技術協力の要請がコスタ・リカからわが国になされたものである。

＜目標と期待される成果＞

インストラクターとなるべきカウンターパートが品質管理、生産管理および情報処理の分野で、企業に対し研修コースを実施することにより、コスタ・リカを含む中米諸国の産業発展に役立つ人材の育成に寄与することを目標とする。

＜協力活動内容＞

- (1) 人材養成計画の作成
- (2) 講義指導および教材作成に関する指導
- (3) 研修コース作成のための指導

● 保健医療分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績				
	年 度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)	
胃ガン早期診断プロジェ クト (当初R/D協力期間) 95.3.1～2000.2.29	94	事前調査	94年度までの 累 計		2	2	0
	94	長期調査	95年度	新規	9	3	85,292
	94	実施協議					
	95	計画打合せ	継続	0	2		

＜要請背景＞

コスタ・リカは、プライマリー・ヘルスケア分野はラテンアメリカ諸国、カリブ諸国と比較するとかなり高い水準にあるが、近年はガンが死因の55%(1988年)と上位を占めている。うち胃ガンは18%を占めているが、早期胃ガンの発見率はわずか3%であり、全胃ガン患者の治癒率(5年生存率)は同国によれば3%程度と極端に低い状況にある。このため、同国で保健医療サービスを実施し、全国に病院、診療所を有するコスタ・リカ社会保障公庫(CCSS)とコスタ・リカ大学は、胃ガン早期診断体制の確立を重点課題としており、診断方法の研究・開発、同システムの調整、活動のシステム化、胃ガン関連データの収集・分析を行うべくわが国に協力を要請した。

＜目標と期待される成果＞

モデル地区(カルタゴ市/パライソ地区)で胃ガン検診システムを確立する。

＜協力活動内容＞

- (1) 胃ガンの早期診断
- (2) モデル地区における胃ガンの診断情報システム、データベースの確立
- (3) 胃ガンの疫学的調査・研究
- (4) 胃ガン検診に関する人材の育成
- (5) 本システムに関する病院管理、医療サービスの向上
- (6) 集団検診システムの費用対効果の研究

コスタ・リカ◎中南米

キューバ

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
JICA 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.57	4.32
	研修員受入 (人)	15(新規)+2(継続)	167
	専門家派遣 (人)	2(新規)+0(継続)	5
	調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	0	0
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

わが国の対キューバODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

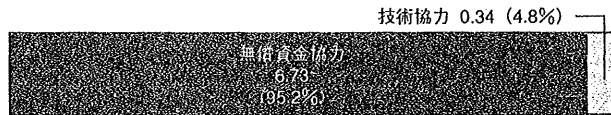


ドミニカ

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力 (億円)		5.70	18.11
有償資金協力 (億円)		0	0
JICA 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.47	2.73
	研修員受入 (人)	4(新規)+0(継続)	16
	専門家派遣 (人)	1(新規)+0(継続)	3
	調査団派遣 (人)	8(新規)+0(継続)	21
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	44
	開発調査 (件)	0	0
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

わが国の対ドミニカODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)



● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
沿岸漁業開発計画	農業土地漁業 林業省漁業局	オーバースー ズアグロフィ ッシャリーズ コンサルタン ツ(株)	95	5.70	96.4.10	96.3 (事業化審査)	95.12(実) (94年度分)
<p>ドミニカの経済開発の柱となる漁業振興のため、近代的な漁具・漁法の導入および水揚施設、市場など流通施設の整備を行う。特に、1995年8月に第1期工事分がハリケーンにより被災したため、本件はその復旧に重点を置いている。主な内容は、水揚岸壁、防波堤、スリップウェイ、泊地、潜堤など漁港施設の建設である。</p>							

ドミニカ共和国

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力		(億円) 17.06	96.16
有償資金協力		(億円) 0	375.67
JICA 技術協力 実績	技術協力経費	(億円) 11.72	111.35
	研修員受入	(人) 56(新規) + 5(継続)	561
	専門家派遣	(人) 30(新規) + 23(継続)	195
	調査団派遣	(人) 58(新規) + 0(継続)	515
	協力隊派遣	(人) 19(新規) + 47(継続)	218
	単独機材供与	(100万円) 0	373
	開発調査	(件) 2	11
	プロジェクト方式技術協力	(件) 2	3

わが国の対ドミニカ共和国ODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 14.40 (27.0%)	技術協力 12.18 (22.9%)	政府貸付等 28.67 (50.1%)
----------------------------	--------------------------	---------------------------

キューバ/ドミニカ/ドミニカ共和国/中南米

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
西部3県給水計画	上下水道庁	国際航業(株)	95	11.04	95.9.5		
<p>ハイティとの国境沿いの西部地域では、他の地域と比べて地域開発が遅れているが、特に緊急に対応が必要な西部3県の飲料水不足を克服するため、同地域に飲料水の供給施設を建設する。</p>							
サントドミンゴ市ゴミ処 理計画	サントドミン ゴ市	(株)環境工学コ ンサルタント	95	3.21	95.12.27	95.6(基礎)	
<p>ドミニカ共和国の全人口の約3分の1が集中する首都サントドミンゴ市は、深刻なゴミ問題を抱えており、機材不足のために衛生的な埋立てが行われていない状況にあることから、埋め立て地関連機材を購入する。</p>							

● 農林・水産分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績				
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)	
コショウ開発計画(II) (当初R/D協力期間) 92.7.7~97.7.6	92	事前調査	94年度までの 累 計	12	7	123,360	
	92	実施協議(事務 所長R/D署名)					
	93	計画打合せ	95年度	新規	4	3	51,169
	93	巡回指導		継続	6	0	
	95	巡回指導					

<要請背景>
 フェーズIでは幼年樹(樹齢4年未満)のコショウの栽培技術開発に対する協力が1987年7月から5年間行われた。ドミニカ共和国政府はこのフェーズIの成果を踏まえ、次の段階として農民に対してコショウ栽培を振興するために、生産樹段階の技術開発を行うとともに、農業技術者および普及員などの訓練を行うことが不可欠であるとして、91年9月にわが国に対し、フェーズIIの協力要請を行った。

<目標と期待される成果>
 コショウ栽培技術をさらに開発し、農業技術者および普及員を訓練することによってドミニカ共和国の農業開発に寄与する。

<協力活動内容>
 (1) 適正な栽培技術の開発および営農計画の作成
 ①栽培技術の開発
 ②土壌栄養技術の開発
 ③作物保護技術の開発
 ④健苗生産システムの設定および開発
 ⑤営農計画の作成
 (2) 実証および訓練

- ①展示農場における実証と展示
- ②農業技術者および普及員の訓練

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
リモン・デル・ジュナ地域農業開発計画	リモン・デル・ジュナ地区は、アグリポ地域のなかでジュナ川下流右岸に広がる水田地域であるが、灌漑排水施設の老朽化による灌漑用水不足、排水不良に悩まされており、灌漑排水施設の改修とあわせて水田開発が望まれている。本件は、ドミニカ共和国政府の要請に基づき、同国の北東部に位置するジュナ川下流右岸の平野部を対象とした農業開発計画策定のフィージビリティ調査を実施するものである。1995年度は、94年度に引き続き本格調査を実施し、最終報告書案をドミニカ共和国側に提出し、説明・協議を行ったのち、最終報告書を作成した。	水利庁	国際航業㈱ (株)パシフィックコンサルタンツインターナショナル

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額(億円)	E/N署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易機材案件調査	実施促進・フォローアップ
食糧増産援助	農務省	(株)日本国際協力システム	95	2.00	95.9.5	95.10(前)	95.9(実)
<p>農業はドミニカ共和国の基幹産業であるが、同国が策定した農業開発計画では、輸出作物(サトウキビ、コーヒー)重視の政策から、国内市場を対象とした米などを重視する政策へ、方向転換が図られている。本件は、こうした農業開発計画の目標達成の一環として、肥料、農薬、農機を投入することによって生産性を向上させ、米などの主要食糧の自給を図るものである。</p>							
ダハボン地区農村開発計画(詳細設計)	農務省	(株)パシフィックコンサルタンツインターナショナル	95	0.30	96.3.19	95.6(本) 95.10(報)	
<p>ハイティとの国境であるダハボン地区の農業生産・生活基盤の改善のため、灌漑施設およびインフラ施設の整備を行う。</p>							

ドミニカ共和国 中南米

● 人的資源分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
小学校建設計画	教育・芸術・ 宗務省	㈱毛利建築設 計事務所				95.5(事) 95.11(本) 96.2(報)	
<p>ドミニカ共和国では、青空教室や定員の数倍の児童を詰め込んでの授業など、教育環境が劣悪であり、就学率の低迷、教育の質の低下の一因となっている。このような劣悪な状況の教育施設を、現地標準仕様の施設に建て替える。</p>							

● 保健医療分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)
消化器疾患研究・臨床 (当初R/D協力期間) 90.1.1~94.12.31 (フォローアップ協力期間) 95.1.1~96.12.31	88	事前調査	94年度までの 累 計	68	19	202,095
	89	実施協議				
	91	計画打合せ	95年度	新規	15	4
	92	巡回指導				
	93	機材管理指導				
	94	終了時評価				
	94	機材管理指導				
		継続	5	0	35,619	

<要請背景>

国立ルイス・アイバール病院は首都にある国立病院としては最高のレベルにあり、国立サントドミンゴ大学医学部などの教育病院を兼ね、加えてカリブ諸国の研修員も受け入れている。同病院では近年、消化器疾患分野の患者数の増加傾向がうかがえるが、同分野の優秀なスタッフおよび診療機器の不足などにより、十分な診療が困難となっている。

このような背景のもとに、1987年7月ドミニカ共和国は、保健医療サービス拡充計画の一環として国立ルイス・アイバール病院を拠点に、消化器疾患診療技術の向上を目的としてわが国に対してプロジェクト方式技術協力を要請した。

<目標と期待される成果>

国立ルイス・アイバール病院において、消化器疾患の疫学的研究および臨床活動を強化し、ドミニカ共和国の消化器疾患の減少に寄与する。

<協力活動内容>

- (1) 消化器疾患臨床活動を強化する。
 - ①内視鏡技術を向上させる。
 - ②超音波診断技術を向上させる。
 - ③放射線検査技術を向上させる。
 - ④小児科のレベルを向上させる。
- (2) 臨床検査機能を強化する。
 - ①血液学、生化学検査技術を向上させる。
 - ②微生物学、寄生虫学的検査技術を向上させる。

③血清学検査技術を向上させる。

④病理学検査技術を向上させる。

(3) 疫学的研究活動を強化する。

(4) 病院管理を改善する。

(5) 看護のレベルを向上させる。

・フォローアップにおいて特に強化する活動

(1) 消化器センターの臨床医学活動の強化

(2) 検査部門の向上

(3) 疫学活動の強化

(4) 看護医療の改善

(5) 機器設備保守の改善

(6) 病院管理の改善

(7) セミナーの改善

エクアドル

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力		(億円) 15.33	91.72
有償資金協力		(億円) 85.76	680.89
JICA 技術協力実績	技術協力経費	(億円) 8.74	99.32
	研修員受入	(人) 54(新規)+12(継続)	694
	専門家派遣	(人) 7(新規)+9(継続)	164
	調査団派遣	(人) 31(新規)+1(継続)	784
	協力隊派遣	(人) 29(新規)+30(継続)	81
	単独機材供与	(100万円) 0	162
	開発調査	(件) 2	21
	プロジェクト方式技術協力	(件) 1	3

エクアドル ● 中南米

わが国の対エクアドルODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力	22.79
技術協力	12.36
政府貸付等	-0.40

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
キト市南部上水施設整備 計画(詳細設計)	厚生省 キト市上下水 道公社	北海道開発コ ンサルタント (株)パシフィッ クコンサルタ ンツインター ナショナル	95	0.62	95.9.28	95.6(報)	
エルシント川からの取水・送水施設の新設およびアグナグア導水管路改修のための資材を供与する。							
東部地域道路整備用機材 強化計画	公共事業省道 路整備局	財団法人国際協 力システム	95	9.72	95.7.13		
インフラ整備や開発が遅れている東部地域では、道路建設機材が老朽化し、十分な道路整備・補修が行えないことから、道路建設関連機材を購入する。							

● 農林・水産分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)
国立養殖・海洋研究セン ター (当初P/D協力期間) 90.8.1~95.7.31 (フォローアップ協力期間) 95.8.1~97.7.31	88	長期調査	94年度までの 累 計	17	14	133,217
	89	事前調査				
	89	長期調査	95年度	新規	4	3
	89	実施協議				
	90	計画打合せ				
	91	巡回指導				
	92	巡回指導				
94	終了時評価	継続	5	2	29,770	

<要請背景>
 エクアドルの輸出産業として重要なエビ養殖業の安定的発展、および魚介類を含めた多角的な養殖業への転換を図るため、エクアドル政府は、無償資金協力で建設された国立養殖・海洋研究センターを拠点とした協力をわが国に対して要請してきた。

<目標と期待される成果>
 国立養殖・海洋研究センターの水産養殖に関する職員の基礎・応用研究能力の向上を図り、同センターの機能強化に資する。協力分野は、水族病理学、水族栄養学、貝類養殖、魚類養殖の4分野である。

<協力活動内容>
 (1) 水族病理学(診断、予防、治療)に関する基礎研究および応用研究を行う。
 (2) 水族栄養学(基礎食品化学分析法、栄養要求、消化吸収、飼料開発研究)に関する基礎研究および

応用研究を行う。

(3) 有用貝類(マガキとカシュウイタヤガイ)の種苗生産と育成管理に関し、以下についての基礎研究および応用研究を行う。

- ①育成管理：養殖試験、養殖現場の水質モニタリング、二枚貝の人工ふ化試験
- ②種苗生産：在外系統地(マガキ)の導入、母貝の管理、産卵誘発試験、幼生飼育試験

(4) 有用魚類(ヒラメ、スズキ)の種苗生産と育成管理に関し、以下についての基礎研究および応用研究を行う。

- ①採卵試験：親魚採集、親魚飼育、採卵、仔魚飼育
- ②種苗生産：初期飼料生産、稚魚飼育
- ③育成管理：天然採集魚の育成、水質測定、魚体測定

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
パバジャクタ国立アンデス養殖研究センター計画	商工統合漁業省	システム科学 コンサルタン ツ(株)	94	4.59	94.8.2		95.12(実)
パバジャクタ地方の山岳民族を対象として、ニジマス養殖の普及、研究を行うセンターの建設計画を策定する。							
食糧増産援助	農牧省	(株)日本国際協 力システム	95	4.00	96.1.8		96.2(実)
エクアドルは、農産物の生産強化を掲げ、基礎穀物生産面積の拡大と、中小規模農民に対する主食用穀物の自給体制の確立などをめざしている。本件では、そのために必要な肥料、農機を供与する。							

エクアドル◎中南米

● 鉱工業分野 ●

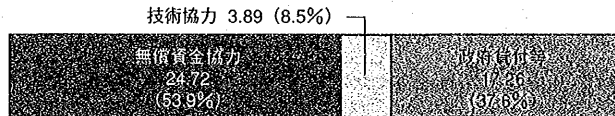
開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調査業務 受注企業名
フニン・コジャツヘ地域 開発計画	地質状況および鉱床賦存状況の解明により新鉱床を発見するとともに、鉱床開発に関する評価を行う。1995年度は、コントロールシア川からフォルツナ川にかけての範囲でボーリング調査を実施し、掘進幅294～389m、平均品位CuO ₂ =1.0%の鉱化帯を捕捉した。そのなかにはかなり有望な鉱床帯もある。また、フニン地区で実施された24本のボーリングをもとに鉱量計算を行い、今後の探鉱有望箇所を特定できた。	地質鉱山冶金 開発探査公社	大手開発(株)

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力		(億円) 17.41	153.15
有償資金協力		(億円) 75.85	352.69
JICA 技術協力実績	技術協力経費	(億円) 6.52	25.74
	研修員受入	(人) 27(新規) + 3(継続)	314
	専門家派遣	(人) 0(新規) + 1(継続)	51
	調査団派遣	(人) 73(新規) + 1(継続)	201
	協力隊派遣	(人) 13(新規) + 10(継続)	103
	単独機材供与	(100万円) 36.11	50.11
	開発調査	(件) 2	4
プロジェクト方式技術協力		(件) 0	0

わが国の対エル・サルヴァドルODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)



● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
グランデ・デ・サン・ミゲル川流域総合洪水対策計画	エル・サルヴァドル第2の都市サン・ミゲル市および肥沃なグランデ・デ・サン・ミゲル川流域の開発を行うため、洪水が頻発する同河川の治水および水資源開発のマスタープランを策定し、優先プロジェクトのフィージビリティ調査を実施する。1995年度は、事前調査を実施し、実施細則を締結するとともに、本格調査を開始し、着手報告書をエル・サルヴァドル政府に提出した。	農牧省	(株)パシフィックコンサルタンツインターナショナル 日本建設コンサルタンツ(株) (株)パスコインターナショナル

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額 (億円)	E/N署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易機材案件調査	実施促進・フォローアップ
東部主要国道橋梁架け替え計画	公共事業省道路総局	日本工営(株) (株)オリエンタルコンサルタンツ	95	10.11	95.5.17		
<p>内戦中に反政府軍によって重要な橋梁が爆破されたため、エル・サルヴァドル東部の主要国道上の、老朽化、損傷している2橋梁の架け替えを行い交通基盤を整備する。</p>							

東部地域道路舗装用アスファルトプラント設置計画	公共事業省道路総局	国際航業(株) (株)建設企画コンサルダント	95	6.40	96.1.12	95.6(本) 95.10(報)	
エル・サルヴァドルで特に内戦の影響が大きい東部地域は、道路の破損、疲弊が著しく、車両通行が困難であるため、同地域の道路整備を図るために必要なアスファルトプラントなどの機材を購入する。							

● 農林・水産分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査回受入先	調査業務受注企業名
ビボア川流域農業総合開発計画	ビボア川流域は、灌漑施設の不備による乾期の用水不足、下流部低平地における雨期の湛水被害が農業生産上の大きな阻害要因となっているほか、上流部での森林破壊や過放牧に起因する洪水の発生、都市部への人口の流出、内戦の影響による農村インフラの不備などから、農村の生活環境は著しく悪化している。そこで、同地域での農業生産量の増大と生産性の向上を目的とする農業生産基盤の改善と、農村インフラ整備および洪水対策を含めた流域全体の農業農村総合開発計画の早期策定が望まれている。本件は、エル・サルヴァドル政府の要請に基づき、首都サン・サルヴァドルに隣接するビボア川流域約6万haを対象とした農業総合開発計画の策定のためのマスタープラン調査を実施するものである。1995年度は、事前調査を実施し、実施細則を締結するとともに、本格調査を開始し、着手報告書、進捗報告書を作成してエル・サルヴァドル政府に提出した。	農牧省	国際航業(株)

エル・サルヴァドル◎中南米

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	企画省	(株)日本国際協 カシステム	95	4.00	95.8.31	95.12(簡)	
エル・サルヴァドルでは、多くの小規模農民が農業資機材の購入も不可能な状態であり、主要食糧のほとんどを輸入に頼っている。本計画は、中小農家に肥料、農薬、農機を供与することにより、主要食糧の自給率を向上させるもので、ひいては内戦後の社会基盤の強化にもつながるものとして期待されている。							

サボティタン地区農村復旧計画(詳細設計)	農牧省天然資源総局	内外エンジニアリング(株)	95	0.40	95.8.31	95.6(報)	
農業整備重点地域のひとつであるサボティタン地区の首都近郊農業の活性化を図るため、農業基盤施設の復旧に必要な資金について無償資金協力を行う。							

● 人的資源分野 ●

.....
機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
工業高校実習訓練用機材	一式	36,114	エル・サルヴァドル工業高校	一般単独機材	専門家派遣 協力隊派遣 研修員受入

.....
無償資金協力事業(JICA担当分)

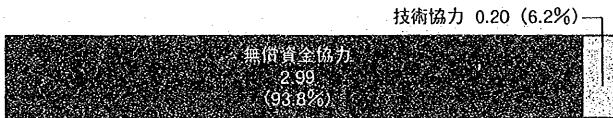
プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
初等・中等学校建設計画	教育省	システム科学 コンサルタント(株)	95	6.35	95.5.17		
内戦中に約600の初等学校が破壊され、現在でも施設が慢性的に不足していることから、西部・中部地方の初等学校27校、中等学校2校の建設、および机、椅子などの機材を整備する。							
初等・中等学校建設計画 (II)	教育省	システム科学 コンサルタント(株)				95.7(本) 95.10(報)	
エル・サルヴァドル東部地域において、小学校38校と、中学校2校の建設、および机、椅子の供与を行う。							

グレナダ

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力		(億円) 5.02	14.78
有償資金協力		(億円) 0	0
JICA 技術協力実績	技術協力経費	(億円) 0.22	4.03
	研修員受入	(人) 3(新規)+0(継続)	37
	専門家派遣	(人) 1(新規)+0(継続)	4
	調査団派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	18
	協力隊派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与	(100万円) 0	27
	開発調査	(件) 0	0
	プロジェクト方式技術協力	(件) 0	0

わが国の対グレナダODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)



● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
セント・ジョージズ漁業 施設建設計画	農業・貿易・ 産業・エネルギー・生産省	オーバースー ズアグロフィ ッシャリーズ コンサルタン ツ(株)	95	5.02	95.9.6		
<p>グレナダの水揚げの中核基地である首都セント・ジョージズでは、既存漁業関連施設が老朽化し、機能が低下しているため、水産コンプレックスを建設するとともに、保冷庫などの機材を整備する。</p>							

グレナダ◎中南米

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力		(億円) 17.57	94.47
有償資金協力		(億円) 31.12	136.98
JICA 技術協力実績	技術協力経費	(億円) 13.63	107.45
	研修員受入	(人) 31(新規)+4(継続)	512
	専門家派遣	(人) 12(新規)+12(継続)	252
	調査団派遣	(人) 111(新規)+12(継続)	770
	協力隊派遣	(人) 36(新規)+49(継続)	139
	単独機材供与	(100万円) 6.13	235.55
	開発調査	(件) 4	18
	プロジェクト方式技術協力	(件) 1	2

わが国の対グアテマラODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 15.00 (43.0%)	技術協力 12.76 (36.6%)	政府官庁等 20.24 (60.4%)
----------------------------	--------------------------	---------------------------

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
中部高原地下水開発計画	グアテマラは、1981年に「飲料水供給と衛生施設の改良に関する10カ年計画」、また87年にはIDB(米州開発銀行)の協力で「全国上下水道整備計画(マスタープラン)」を策定したが、水資源開発はまだまだ遅れた状況である。本件は、グアテマラ政府の要請に基づき、中部高原地帯6県96市町村を対象として、地下水を主とする水源開発基本戦略を策定し、優先市町村についてフィージビリティ調査を実施するものである。1995年度は、最終報告書案をグアテマラ側に説明したのち、最終報告書を作成した。	地方都市振興庁	国際航業(株)
首都圏下水道整備計画	グアテマラ政府の要請に基づき、グアテマラ市および周辺7市の一部を含む首都圏を対象として公衆衛生の改善や環境保全のための、下水・衛生セクターのマスタープラン(目標年次：2015年)を策定し、同計画のなかで選定された優先プロジェクトについてフィージビリティ調査を実施する。1995年度は、着手報告書の提出後、下水・衛生セクターのマスタープランを策定し、同計画のなかから優先プロジェクトを選定し、中間報告書に取りまとめた。さらに、フィージビリティ調査を実施し、進捗報告書(1)を作成した。	グアテマラ市水道公社	(株)日水コン (株)パシフィック コンサルティング インター ナショナル

首都圏交通網整備計画	グアテマラ政府の要請に基づき、同国首都圏の道路網の改善と公共交通システムの強化を図ることを目的とした交通網整備計画のフィージビリティ調査を実施する。1995年度は、現況調査を実施し、マスタープラン調査のレビューおよび交通セクターの分析を行い、フィージビリティ調査の基本方針を確定するとともに、この方針を踏まえ、代替案の比較検討を行った。	グアテマラ市	八千代エンジニアリング(株) (株)長大
------------	--	--------	-------------------------

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
グアテマラ市浄水場修復 計画	グアテマラ市 水道公社	(株)協和コンサル タンス	95	27.99	95.5.31		
首都グアテマラ市の上水の衛生事情を改善するため、老朽化した3つの浄水場の修復を行う。							
低所得者住宅改善計画	国立平和基金		95	3.45	96.6.10		
帰還難民や定住地を追われた先住民など、低所得者層の再定住対策を進めるための新規住宅の建設、既存住宅の改修に必要な住宅用資材(屋根用亜鉛鉄板と釘)を供与する。							

グアテマラ◎中南米

● 農林・水産分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調査業務 受注企業名
パハ・ヴェラパス県森林 管理計画	グアテマラのパハ・ヴェラパス県では、人口の増加に伴う農地の拡大および過放牧が進行し、さらに森林の火災や病虫害の発生などにより、森林の消失、劣化が著しく進んでいる。本件は、パハ・ヴェラパス県全域約28万haを調査対象地域とし、森林資源調査を行うとともに、林政の展開方針とその方策などを内容とする森林管理計画を策定する。また、調査対象地域内に、適正な森林管理の実践の場として、かつ民有林所有者を含む林業関係者を対象とする森林施業技術の研修の場として、パイロットフォレスト(約1700ha)を設定し、詳細森林調査を行い、パイロットフォレスト管理計画を策定するものである。1995年度は、28万haのスタディエリアにおいて森林資源調査を、パイロットフォレストにおいて詳細森林調査を行い、主題図案、森林管理計画暫定案、パイロットフォレスト管理計画暫定案を作成し、これらの結果を中間報告書に取りまとめた。	農牧食糧省森 林野生生物総 局	(株)日本林業技 術協会 (株)パスコイン ターナショナル

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農牧食糧省	(株)日本国際協 力システム	95	3.00	95.8.31		95.9(実)
<p>グアテマラは、農業生産力増大の高い潜在力をもちながら農業基盤の整備、技術の普及が遅れており、生産性は依然低い。本計画は、そのなかでも特にポテンシャルの大きい南部11県を対象として、肥料、農業、農機などの農業資機材を投入し、同国の食糧の安定供給を図るものである。</p>							

● 鉱工業分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
鉱物試料分析用機材	一式	6,129	エネルギー-鉱山省鉱山総局 鉱山局	小規模単独機 材	専門家派遣

● 保健医療分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)
熱帯病研究 (当初F/O協力期間) 91.10.1~96.9.30	90	事前調査	94年度までの 累 計	50	11	172,035
	91	実施協議				
	93	計画打合せ	95年度	新規 11	4	34,218
	94	巡回指導				

<要請背景>

グアテマラでは、地理的、気候的、動植物生態学的風土条件により、マラリアをはじめとし、シャガス病、オンコセルカ症などの伝播昆虫媒介性疾病が、社会・経済発展を阻害するものとして、同国の保健医療政策上で緊急に対処すべき課題に位置づけられているが、研究基盤整備(施設、機材、人材)の立ち遅れにより、効果的な対策がとられていない状況にある。わが国は同国に対し、これまでに、オンコセルカ症研究プロジェクト(1975~1983年)、マラリア対策ミニプロジェクト(87~90年)を通じ、熱帯病対策分野での技術協力を進めてきており、これらわが国の協力に対しては、グアテマラ官民の高い評価を得てきている。

これまでのわが国の継続してきた協力をもとに、同国政府は上記熱帯病の基盤的、包括的技術の獲得およびその成果をもって国民の保健衛生分野の改善を図ることを目的とし、わが国に対し熱帯病研究に関するプロジェクト方式技術協力を要請してきた。

<目標と期待される成果>

伝播昆虫媒介性疾病を中心とした熱帯病に関し、包括的研究技術の向上を図る。

〈協力活動内容〉

下記の4分野において専門家(①免疫診断学、②疫学、③寄生虫学)を派遣中である。

- (1) 病原体の同定と診断
- (2) 治療法研究および臨床的研究
- (3) 伝播昆虫の生態学
- (4) 疫学と人間生態学

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
第2次国立病院網機材整備計画	厚生社会福祉省	ピンコー(株)	95	6.11	96.3.13	95.9(本) 95.12(報)	
<p>本件は、地方の医療拠点である7つの病院を対象とし、地方部の低所得者層の医療環境改善など民生面の向上を目的とするもので、95年度はポプトン病院、ティキサテ病院、グアスタトーヤ病院、サラマ病院に対して基礎的医療機材(レントゲン、内視鏡、分析器、手術台など)を供与する。</p>							

ガイアナ

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力		(億円) 13.24	68.45
有償資金協力		(億円) 0	0
JICA 技術 協力 実績	技術協力経費	(億円) 0.47	4.64
	研修員受入	(人) 4(新規)+0(継続)	70
	専門家派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	7
	調査団派遣	(人) 12(新規)+0(継続)	57
	協力隊派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与	(100万円) 0	0
	開発調査	(件) 0	1
	プロジェクト方式技術協力	(件) 0	0

わが国の対ガイアナODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力	技術協力
0.08	0.34
(18.2%)	(81.8%)

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
漁業振興計画	ガイアナ漁業 公社		78	4.00			95.9(F/U)
			80	6.00			
			85	4.61			
			87	2.63			
<p>(1) 本体：漁業の近代化を図るため、施設および機材の供与を行った。</p> <p>(2) フォローアップ協力：本計画に関し実施機関の運営体制の確認を行うとともに、供与機材の稼働状況調査を行う。</p>							

● エネルギー分野 ●

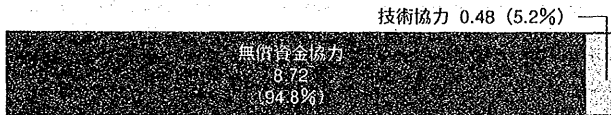
無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
デメララ地区発電所整備 計画	ガイアナ電力 公社	(株)イー・ピー・ ディ・シー・ インターナシ ヨナル	95	10.17	95.11.22	95.5(本) 95.9(報)	
<p>ガイアナの電力供給を行っているガイアナ電力公社は、発電設備の老朽化や故障によって、連日4時間程度の計画停電を余儀なくされている。そこで電力事情改善のため、ディーゼル発電設備を購入し、発電所舎を建設する。</p>							

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力		(億円) 15.86	158.69
有償資金協力		(億円) 0	0
JICA 技術協力実績	技術協力経費	(億円) 0.82	4.23
	研修員受入	(人) 8(新規)+0(継続)	61
	専門家派遣	(人) 2(新規)+0(継続)	4
	調査団派遣	(人) 17(新規)+6(継続)	87
	協力隊派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与	(100万円) 0	6
	開発調査	(件) 0	0
	プロジェクト方式技術協力	(件) 0	0

わが国の対ハイティODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)



● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
道路建設機械整備計画	公共事業・運 輸・通信省	㈱建設企画コ ンサルタント	95	5.01	96.3.11	95.11(事)	

ハイティでは道路の損傷が著しく、渋滞の恒常化、輸送コストの増大、汚水の滞留、塵埃の発生など住民の社会・経済生活に重大な影響を及ぼしていることから、道路補修に必要な道路建設機械を購入する。

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業省	㈱日本国際協 力システム	95	4.00	96.1.9	95.7(事)	96.2(実)

ハイティでは、3年にわたる軍支配の間に国土が荒廃し、食糧生産が人口増加に追いつかず、深刻な食糧不足を引き起こし、子どもの栄養不足、高い乳児死亡率などの問題に直面しており、緊急な対策が迫られている。このため、同国政府が必要としている肥料、農機を供与し、食糧作物の増産を図る。

○ **ホンデュラス**

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力		(億円) 25.94	303.42
有償資金協力		(億円) 0	409.24
J I C A 技 術 協 力 実 績	技術協力経費	(億円) 21.57	188.14
	研修員受入	(人) 63(新規)+9(継続)	604
	専門家派遣	(人) 33(新規)+33(継続)	264
	調査団派遣	(人) 141(新規)+0(継続)	936
	協力隊派遣	(人) 50(新規)+70(継続)	615
	単独機材供与	(100万円) 48.27	756.55
	開発調査	(件) 4	18
プロジェクト方式技術協力		(件) 3	4

わが国の対ホンデュラスODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 37.52 (53.3%)	技術協力 18.86 (26.8%)	政府貸付等 13.95 (19.9%)
----------------------------	--------------------------	---------------------------

● 計画・行政分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
消防機材整備計画	ホンデュラス 消防隊		88	7.00			95.8(F/U)
<p>(1) 本体：機材の不足および老朽化により支障の出ている都市消防活動を改善するため消防機材の調達を行う。</p> <p>(2) フォローアップ協力：無償で調達した消防機材に関し現況を調査のうえ、フォローアップの内容を確定する。</p>							

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調査業務 受注企業名
テグシガルバ市都市交通 網整備計画	ホンデュラス政府の要請に基づき、同国首都テグシガルバ市の深刻な交通混雑の緩和を目的とした都市交通システム整備計画のマスタープラン(目標年次：2010年)を策定する。1995年度は、94年度に締結した実施細則に基づき本格調査を開始し、着手報告書、進捗報告書、中間報告書を作成、ホンデュラス政府に提出した。	テグシガルバ 市都市計画局	㈱オリエンタル コンサルタン ツ セントラルコ ンサルタント ㈱

ホンデュラス◎中南米

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
新チオルティカ橋建設計 画(詳細設計)	通信運輸公共 事業省	セントラルコ ンサルタント ㈱	95	0.47	96.1.30	95.8(本) 95.11(報)	
<p>ホンデュラスを横断するパン・アメリカン・ハイウェイ新バイパス建設に伴い、旧ルート上の老朽化したチオルティカ橋を新ルートに架け替える。チオルティカ市の幹線道路は建設後60年を経ており、橋梁の老朽化も著しく、重車両の通過が増加している現在、非常に危険な状況にある。このため橋の建設の詳細設計を行う。</p>							
サンペドロスーラ市浄水 場整備計画	サンペドロス ーラ市水道局	㈱協和コンサ ルタンツ	95	8.85	95.5.30		
<p>ホンデュラス北部のサンペドロスーラ市の上水の衛生事情改善のため、塩素処理のみしか行っていないかったピエドラス浄水場施設を、急速ろ過を行う程度の浄水場に整備する。</p>							

テグシガルバ市周辺地域 給水計画	上下水道公社	協和コンサル タンス	95	6.24	95.5.30		
<p>ホンデュラスの首都テグシガルバ市周辺地域で、地下水開発による飲料水の改善を図るため、14本の井戸掘削、地下水槽建設、配水池建設、送水管敷設を行うとともに関連資材を購入する。</p>							

● 農林・水産分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)
養豚開発計画 (当初R/D協力期間) 93.5.15~98.5.14	91	事前調査	94年度までの 累 計	8	6	103,645
	92	長期調査				
	92	実施協議	95年度	新規	7	3
	93	計画打合せ				
	95	巡回指導				
<p><要請背景> ホンデュラスでは、近年加工品を中心に豚肉需要が増大してきた。しかしながら、同国の養豚業は旧来の技術力の劣る飼養体系のもとで産肉能力の低い地豚(クリオーリョ)を飼養する小規模農家が大部分を占め、その生産量は国内需要を満たすには至っていない。このようななかで、ホンデュラス政府は改良豚の導入、飼養管理技術の向上などを目的とした「在来豚の改良および肉加工」に関するプロジェクト方式技術協力をわが国に要請してきた。</p> <p><目標と期待される成果> 種豚の導入、技術の開発および研修を通じて種豚生産を進展させ、ホンデュラスにおける養豚業の発展に寄与する。</p> <p><協力活動内容> (1) 高能力種豚の導入、試験的生産・供給 (2) 養豚技術の開発・改良(飼養管理、繁殖、育種、衛生など) (3) 養豚兼業農家に対する適切な飼養管理技術の実証モデル展示と関連技術指導 (4) 上記(1)~(3)に関連した技術者の研修</p>						
灌漑排水技術開発計画 (当初R/D協力期間) 94.10.1~99.9.30	93	事前調査	94年度までの 累 計	7	2	20,138
	93	長期調査				
	94	実施協議	95年度	新規	5	4
	95	計画打合せ				
<p><要請背景> ホンデュラスは、国家開発計画(1990~1994)のなかで非伝統作物の多様化と食糧の安定供給を最優先課題としている。同国の主要作物の自給率は低く、乾期の農業生産技術の確立、灌漑農業の普及が急務である。このためホンデュラスは、既存の農業開発研修センター(CEDA)内組織の充実を図り、灌漑排水全体に関する基準の策定を目的とした調査研究部門を新設し、わが国に対して灌漑排水に関する技術者養成のための技術協力を要請してきた。</p>						

〈目標と期待される成果〉

ホンデュラスの灌漑排水事業において、実態に合った計画・設計基準を策定できる技術者を養成することを目的とする。

〈協力活動内容〉

- (1) 灌漑排水全般の基準に関する灌漑情報収集と整理
- (2) 水文気象観測データの基準作成への利用
- (3) 基準作成に必要な実験調査法の指導
- (4) 必要に応じたモデル施設での実証
- (5) セミナーなどによる普及と情報交換

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査回受先	調査業務受注企業名
テウパセンティ地域森林資源管理計画	<p>ホンデュラスでは、過去25年間に森林の200万ha近くが消失している。テウパセンティ地域は首都(テグシガルボ)に近く、人口の増加に伴い、農地の拡大、放牧に伴う火入れによる森林火災の多発などにより森林の消失、劣化が進んでおり、特にマツ林地帯において消失が著しい。本件は、エル・パライソ県テウパセンティ地域約19万haを調査対象地域とし、土地利用植生を把握するとともに森林資源調査を行い、現存する森林の適正な保全と利用を図るための森林管理指針を策定する。また、モデル地区4万haを設定し、森林管理指針に基づき、森林管理計画を策定するものである。1995年度は、森林資源調査などを行い、主題図案、森林管理指針暫定案、森林管理計画暫定案、マツ林地生産力図案を作成し、これらの結果を中間報告書に取りまとめた。</p>	ホンデュラス森林開発公社	(株)日本林業技術協会 (株)パスコインターナショナル
北部沿岸小規模漁業振興計画	<p>ホンデュラスの北部沿岸では、約8000名の零細漁民とその家族、および水産関連産業従事者など多数の人々が漁業に依存し生活しているが、流通システムの未整備、非効率的な漁法、保存技術の低さなどにより漁業開発は停滞し、漁民の生活は貧窮している。本件は、同国の北部沿岸地域(海岸線延長約683km)に位置する小規模漁業の振興と漁民の生活向上を目的とした小規模漁業振興計画策定のための調査を実施するものである。1995年度は、事前調査を実施し、実施細則を締結するとともに本格調査を開始し、優先開発地域の漁村近代化計画策定に必要な現地調査と東部地区での現地予備調査を実施し、その結果を進捗報告書に取りまとめた。</p>	天然資源省漁業養殖総局	システム科学コンサルタンツ(株)

ホンデュラス◎中南米

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	天然資源省	姉川本国際協 力システム	95	4.50	95.7.25		95.8(実)
国家基礎食糧計画のもと、ホンデュラスの主要食糧生産の担い手となっている中小農民について、肥料、農機といった農業資機材を投入することにより、その生産性を向上させ、食糧自給を図る。							

● 保健医療分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
小児科集中治療室用機材	一式	48,265	厚生省教育病院	一般単独機材	専門家派遣 研修員受入

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)
看護教育強化 (当初R/D協力期間) 90.9.1~95.8.31	89	事前調査	94年度までの 累 計	25	14	321,836
	90	実施協議				
	92	計画打合せ	95年度	1	4	
	93	巡回指導				
94	終了時評価		5	0	9,958	

<要請背景>

ホンデュラスは、国民、とりわけ農村地域の住民に対する保健衛生サービスの充実および乳児死亡率の低下を図ることを基本的保健政策として掲げている。しかし、農村地域では保健サービスの担い手である看護婦(多くの地域では地域保健所に勤務する看護婦が予防接種、栄養失調対策、母子保健などの幅広い公衆衛生活動を行っている)が絶対的に不足しており、また、その技術水準も低いことから、住民の保健ニーズに十分対応できないでいた。

このような背景から、ホンデュラスは、厚生省管轄の准看護婦養成校および国立自治大学看護学部(正看護婦教育)を対象にして、わが国に対してプロジェクト方式技術協力を要請してきた。

<目標と期待される成果>

看護教師の教育技術の向上

<協力活動内容>

- (1) 緊急に対応が必要な分野の看護教育の理論および方法の改善
- (2) 看護教育カリキュラムの改善
- (3) 農村および都市周辺部の実践教育技術の改善および強化
- (4) 看護教育技術の改善
- (5) 看護教育用テキストの開発および改善

開発調査事業

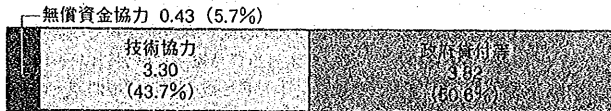
プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
保健医療総合改善計画	ホンデュラスの保健セクターは、住民教育および人材養成の遅れ、財政管理の不備、環境衛生の未整備、地域中核病院の弱体さなど、解決を要する問題が種々存在している。今後、同国の保健セクターに活用可能な資源を有効に利用し、効果的に保健サービスの改善を図っていくためには、国家レベルでの総合計画が不可欠となっている。本件は、ホンデュラスの要請に基づき、同国の保健医療サービスを総合的に改善するための戦略および優先地域あるいは優先サブセクターに関する保健サービスマスタープランを策定するものである。1995年度は、94年度に実施したフェーズⅠ「総合的戦略の策定」に引き続き、フェーズⅡ「総合基本計画の策定」およびフェーズⅢ「優先プログラムの行動計画の策定」の調査を実施した。	保健省	システム科学 コンサルタン ツ(株)

ジャマイカ

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力 (億円)		0.57	5.51
有償資金協力 (億円)		0	478.79
JICA 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	2.51	20.29
	研修員受入 (人)	15(新規) + 2(継続)	128
	専門家派遣 (人)	3(新規) + 0(継続)	15
	調査団派遣 (人)	10(新規) + 0(継続)	117
	協力隊派遣 (人)	9(新規) + 33(継続)	74
	単独機材供与 (100万円)	0	60.67
	開発調査 (件)	0	3
プロジェクト方式技術協力 (件)		0	0

わが国の対ジャマイカODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)



ジャマイカ◎中南米